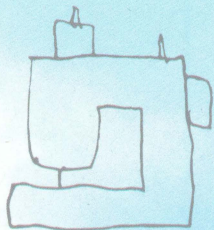


STROBORUSH "ストロボラッシュ" それは、ここから飛びたつためにほくらが背中につけた羽だった。



Rock'n'Roll
Makin



ロックンロールミジン 『GO』(主演:窪塚洋介) 行定勲監督、待望の最新作
行定勲監督作品 原作:鈴木清剛『ロックンロールミジン』(河出書房新社/新潮文庫) 第12回三島由紀夫賞受賞作
池内博之 りょう 加瀬亮 水橋研二 栗田麗 川合千春 永田めぐみ 津田寛治 戸田昌宏 つぐみ 三輪明日美 松重豊 SUGIZO 宮藤官九郎

製作:案納俊昭/馬伸一/黒澤満 プロデューサー:長谷川真澄/鈴木裕光/松井俊之 アソシエイトプロデューサー:坂本公孝/水上翼雄 企画協力:佐谷秀美/石田幸一 脚本:佐藤信介/行定勲 撮影:福本淳 美術:林田裕至 編集:今井剛 音楽:めいなか
照明:市川徳充 録音:伊藤裕規 ストロボラッシュ衣装デザイン:Future eyes 裾縲衣装デザイン:ルル カンパニー 音楽プロデューサー:津島玄一 エンディングテーマ:"Rock'n roll missing" Scudella Electro(イーストウエスト・ジャパン)

special thanks to:おちまさと 制作協力:SER.INC. 特別協力:パンタン芸術学院 配給:GAGA 制作:SUPLEX INC. 製作:SPACE SHOWER NETWORKS INC./GAGA Communications, Inc./東映ビデオ株式会社
©2002 SPACE SHOWER NETWORKS INC./GAGA Communications, Inc./東映ビデオ株式会社



芸術文化振興財団助成事業



http://www.slowlearner.co.jp/movies/rock/rock.shtml

いつでも、みんなのミシンの音がまるで
ロックンロールを奏でるように響いていた。

“ストロボラッシュ”

それは、ここから飛びたつために、背中につけた羽だった。

会社員・賢司は、仕事も恋愛もなんだか上手くってない。高校の同級生凌一と出会ったのはそんな時だ。凌一は、服飾専門学校で教えている椿やロンドン帰りのカツオといった仲間と一緒に自分たちのデザイナーズ・ブランド“ストロボラッシュ”を立ち上げようとしていた。賢司は、そんな凌一たちの自由さが羨ましい。

ひょんなことから上司を殴って会社を辞めた賢司は、“ストロボラッシュ”の立ち上げを手伝うようになった。最初はボタンすら縫いつけることが出来なかった賢司。でも、顔をあげればアパートの一室で、みんなのミシンの音がまるでロックンロールを奏でるように響いていた。

はじめてロゴをプリントしたTシャツ。太陽が降り注ぐ屋上での日なたぼっこ。につまった時のfrisbee。ちょっとした仲間割れ。自分たちにしか作れない服。誰からも認められなくても平気だった。彼らが愛した、悩ましくも奔放な日々。どこまで続けていけるのだろう…。



『GO』(主演:窪塚洋介)で日本アカデミー賞最優秀監督賞など各映画賞を総なめにした行定勲監督の最新作は、あため続けてきた『ロックンロールマシン』。“奇跡のような日々”が奏でる喜びと切なさを深い共感で描き出す。

監督は、2001年窪塚洋介主演『GO』で日本アカデミー賞最優秀監督賞をはじめ各映画賞を総なめ。若手実力派監督としての評価を不動のものとした行定勲。次々と意欲的に映画を作り続けている行定勲監督が、惚れ込み、あため続けていた作品。それが本作『ロックンロールマシン』である。原作は、コムデギャルソンに勤め、文化服装学院で教えるもしていたキャリアを持つ文学の旗手、鈴木清剛の第12回三島由紀夫賞を受賞小説。二度と戻らない時間、取り返しのつかない言葉や経験、そんな記憶が醸し出す切なさや痛みを、静かに見つめる行定監督は、誰もがまだ“何者”でもない頃に経験する“奇跡のような日々”を、時には深い共感をこめ、時には監督自身の若い頃に感じた“苦さ”を重ね合わせ、そして何よりも、さらに若い世代へエールをおくるかのように作り上げた。

行定組ともいうべきスタッフ、キャストと池内博之、りょう、加瀬亮、水橋研二、SUGIZO、宮藤官九郎をはじめとする初顔合わせの俳優たち。作品にかかわるすべての人のコラボレーションが、青春映画の傑作を紡ぎだす。

そんな『ロックンロールマシン』を支えるのは、監督の“目”であり、『ひまわり』『閉じる日』『贅沢な骨』でもコンビを組む撮影の福本淳。また、林海象作品の音楽で知られる、めいなCo.が、4人の喜びや不安を包み込むように音楽を奏で、スピッツなど多くのミュージシャンのプロデューサーである石田小吉が率いるScudelia Electroがエンディングテーマ“Rock'n roll missing”を書き下ろしている。出演は、清水浩監督『チキンハート』でも注目を浴びる池内博之、伊勢谷友介監督『カクト』や黒沢清監督『アカルイミライ』など5本の出演作品が公開待機中、映画俳優として将来を期待される加瀬亮、ファッションリーダーとしてだけでなく女優として映画、テレビドラマに活躍するりょう(是枝裕和監督『ディスタンス』)、水橋研二(塩田明彦監督『月光の囁き』)をはじめ、『GO』の脚本家でもある大人計画の宮藤官九郎、映画『Soundtrack』で初主演も果たしたミュージシャンのSUGIZOといった初顔合わせの俳優たちに加え、もはや行定組の常連とも言うべき栗田麗(『ひまわり』)、津田寛治(『ひまわり』『贅沢な骨』)、戸田昌弘(『ひまわり』)、つぐみ(『贅沢な骨』)などが総出演している。

ロックンロールマシン

行定勲監督作品 ©2002 SPACE SHOWER NETWORKS INC. / GAGA Communications, Inc. / 東映ビデオ株式会社
原作◎鈴木清剛『ロックンロールマシン』(河出書房新社/新潮文庫) 第12回三島由紀夫賞受賞作



池内博之 りょう 加瀬亮 水橋研二 栗田麗 川合春春 永田めぐみ 津田寛治 戸田昌弘 つぐみ 三輪明日美 阿井上磨呂 梨那 松重豊 SUGIZO 宮藤官九郎

製作: 案納俊昭/馬上伸一/黒澤満 プロデューサー: 長谷川真澄/鈴木裕光/松井俊之 アソシエイトプロデューサー: 坂本公孝/水上繁雄 企画: 板谷健一 企画協力: 佐谷秀美/石田幸一 脚本: 佐藤信介/行定勲
撮影: 福本淳 美術: 林田裕至 編集: 今井剛 音楽: めいなCo. 照明: 市川徳亮 録音: 伊藤裕規 ストロボラッシュ衣装デザイン: Future eyes 柘植衣装デザイン: ルルカンパニー 音楽プロデューサー: 津島玄一
エンディングテーマ: “Rock'n roll missing” Scudelia Electro special thanks to: おちまさと 制作協力: SEP, INC. 特別協力: パンタン芸術学院
挿入歌: VISION/composed and performed by Takuya Utsuki Insertion Music (from Vantam Collection 2001) 配給: GAGA 制作: SUPLEX INC. 製作: SPACE SHOWER NETWORKS INC./GAGA Communications, Inc./東映ビデオ株式会社

10月 Rock'n Roll ロードショー!!

特別鑑賞券 ¥1500 絶賛発売中! (当日一般 ¥1800の処)

●劇場窓口、阪急・阪神・HEPFIVEの各プレイガイド、チケットぴあにてお求め下さい。

※劇場窓口にてお求めの方には、特製ポストカード(限定数50)をプレゼント!

●上映時間や公開日等は劇場にお問い合わせ下さい。

●毎週火曜日: 男性1000円/水曜日: 女性1000円

梅田ロフトB1 06(6359)1080
テアトル梅田

http://www.cinemabox.com/